

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本理念とケア理念を玄関とユニット内に掲示しいつでも見られる様にしている。 ケアプラン作成時に理念確認シートを使いケアプランが理念に沿っているか確認をしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会に加入しているが今はコロナが落ち着かないため交流はできていない。外の行事(ごみ拾い)には参加した。	町内会もコロナの影響のため行事を中止していた。以前町内会のクリスマス会に参加しておりその時じゃんけん大会をしていた時楽しそうにしていたのを思い出すと復活したいと思います。協力もします。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外国人採用について市の方から外国人受け入れのセミナーなどがあることを教えて頂いたり、外国人が交流している事業があることも教えて頂き会議中に様々な意見交換や、アドバイスを頂き活かしている。	十分にできていると思います。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設長が行政と密に連絡を取り、相談等行っている。	特に問題なく行えていると思います。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束禁止事項を業務日誌にファイルしいつでも見られる。普段の業務の中でもスタッフ同士話しあったり、声を掛け合い拘束につながらないように努めている。 身体拘束廃止委員会を月一回開催している。		Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分に出来ているのではないかと。不適切なケアから身体拘束につながる事もあるので意識している。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止研修の管理者編を受講し不適切なケアがないか普段から話し合い虐待につながらないようにしている。		Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修も行い普段からも出来ているのではないかと。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため研修はなく学ぶ機会がなかったが今年は受講する予定。 実際に制度を活用している利用者が数名いる。制度についてスタッフ全員が正しく理解しているとは言い難い。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設長が行っており理解、納得していただいている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	意見箱の設置をしている。運営推進会議で意見をいただいたり、個別に来訪された時に意見をいただくこともある。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	苦情などないが面会時や、電話の際など何でも言えたり、聞くことができる環境を作っているのだから出てくるのではないかと。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	リーダー会議やカンファレンス開催時に話し合いをしている。日常的にも話しやすい雰囲気があり、反映に努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的にリーダーと面談を行い、個々の目標を立て達成度を話している。リーダーが評価を行い、その後代表が評価をして給与や賞与を決定している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員のモチベーションを考慮し、しっかりとやりがいのある職場を提供できているのではないかと。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍のため研修の回数は減っていたが、リモート研修等には参加している。また、働きながら日常的にOJTを行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ユニットのリーダー達がしっかりとおこなっていることが見受けられているためできているのではないかと。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍だったためあまりできていないが、施設長が他事業所とのつながりがあり様々な情報を伝達してくれている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	できることや、得意なことを一緒に行っていただき、互いに助けあい様々なことを教えていただいている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族や知人の方との関係が途切れないように工夫をしている。電話を取り次いだこともあった。	コロナ禍だったため仕方ないのではないかと。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	生活歴の把握や、何気ない一言や表情等からご本人の希望に沿った暮らしができるように努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人の言葉や行動だけではなくご家族からの情報も活かし、ご本人にあったケアプランを作成している。また、状態に変化があれば都度見直し変更している。	ケアプランの見直しの頻度は多いのか。体調不良からの変化に応じてプランを見直したり、ヒヤリはっとにより項目を増やしたりしている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ケアプランがしっかりと個々に合わせて考えられていると思う。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	実践したことをケアプランNOと共に記録している。カンファレンスで話し合ったりグループLINEで意見を出し合ったりしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	タブレットに変わってから記入が減っている。意識してこれからも行って行くべきではないか。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人やご家族のニーズの変化を理解しその時々に必要な支援を考え実行している。	十分にできていると思う。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍だったため地域との関わりはほとんどないが限られた生活の中でもできるだけ豊かに暮らしていただけるよう努めている。	コロナ禍だったため仕方がないのではないか。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人やご家族の希望に沿ってかかりつけ医を決めており情報を共有しながら関係を築いている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	フェイスシートを作成し入院時に情報を提供している。治療の経過等を共有し早期退院の実現に向けた話し合いをしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	積極的に早期の退院に向けての検討をしていると思われるためできているのではないか。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	早い段階から話し合いを行い十分な説明をした上で理解と納得を得ている。各関係機関と協力しチームで取り組んでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	状態の変化を見極め看取りの検討を行い、契約するかしないか早めに判断できているのではないか。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に救命講習を受けている。また、マニュアルを作成しつつも見られる様にしている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	様々な場面を想定した避難訓練を行っていたが今は人員不足のため毎月行っていない。コロナ禍だったため訓練の参加はないが町内会との協力体制がある。	基準は年二回に対し今までやっていたので充分にできているのではないかと。	ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設として進んで行っており個々の職員の防災意識が高まるのではないかと。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方にあった声掛けの工夫等を行いご本人らしく生活していただけるよう対応している。		ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	場面によってはできていないスタッフも見受けられることもあるため直していきたい。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時々々の想いや希望に寄り添い臨機応変に対応している。やりたいことが安全に行えるよう環境を整える等している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	まだコロナが流行っているため一緒に食事を摂ることはできなくなったが事前にメニューを伝えたり一緒に片付け等を行っている。		ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事で～パーティーなど行っており充分にできているのではないかと。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	バランス良く食事を摂っていただけるよう努めている。食事・水分量を都度スタッフ間で共有し、少ない時には補食を提供し摂取方法を工夫している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床時・就寝時はご本人の能力に応じて行っている。誤嚥しやすい方は都度行っている。		ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後でなくても、ご本人の生活スタイルによっていいのではないかと。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人に合わせて日中と夜間で下着やパットを使い分け都度見直しも行っている。排泄パターンやサインを把握し失敗をできるだけ減らせるよう努めている。		ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に応じ必要があるのかどうかを常に気にし声を掛け合っている。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急な希望にも臨機応変に対応しておりその方にあった湯温にも気を配り気持ちよく入浴していただけるよう努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の睡眠の状況を把握し、その日の疲労感等を考慮し日中でも臥床し休んでいただく等支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている ⓐ. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬情はいつでも確認できるようにしているが副作用等については一部のスタッフしか把握していない。		A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全部を把握する必要はなく、何錠飲んでいるのか等をみんながわかっていたら充分だと思う。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	役割が定着している方が居る。また、できることを活かし楽しみ事をスタッフと一緒に行う等それぞれにあった支援をしている。	十分にできているのではないかな。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている ⓐ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナが落ち着かないため外出はできない。ホーム周辺を歩くことがあったり、月に一度奥様の月命日のお参りに自宅へ帰る方は一名居た。	コロナ禍だったため仕方ない部分が多いと思う。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている ⓐ. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在お金を所持している方はいない。その方の希望に応じて支援はするが、所持したいという希望もない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	部分的に支援を行いご家族に電話をかけたたりしている。ご家族から絵葉書が届くこともある。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	物の配置を工夫し、手摺りや目印等でできるだけ自立した生活が送れるよう支援している。日めくりカレンダーをかけたたり、毎月季節を感じられる様に壁などに装飾をしている。		ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者とも一緒に行えているのでできているのではないかな。

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)						
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	何気ない会話や表情等からご本人の思いや願いに気付いたり引き出したりしている。スタッフ間で情報共有を行いケアプランに活かしている。		
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族からの情報を基に現在の状態に合わせた支援を行っている。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々変化する状況を見極め、その時の最善のケアを提供できるよう努めている。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要に応じて行っていると思う。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	仕事、作業を行ったりしながらひとりひとりご本人のペースで自由に暮らしている。		
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にご家族に伝え馴染みのものを持ってきていただいている。ご家族の写真を飾ったりもしている。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時より馴染みの物等なんでも持ち込めると話しているためできているのではないかと。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓔ. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人とご家族の希望により定期的に外出している方がいたが、コロナの状況が落ち着いたため今もほとんどできていない。	コロナの状況が未だに落ち着かないため仕方ないのではないかと。	
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の記録や、センター方式の活用によりご本人の力にあった役割を担っていただいたり、楽しみごとを行っている。		
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフと談笑したり一緒に作業を行ったり、それぞれのペースで生き活きと過ごされている。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々によりできることに応じて役割を持っているためできているのではないかと。

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナが落ち着かないため外部の方との関わりはできていない。別ユニットの入居者の方と関わりを持つなどできる範囲内での交流は持てている。	コロナのため仕方ないと思う。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている Ⓒ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナが落ち着かないため地域の方々との関わりはできていない。スタッフとは密に関わり笑顔多く過ごせている。	コロナ禍の中でも頑張っていると思う。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員とは良好な関係が築けている方が多いように見受けられる。